

さぼう 砂防工事で流れが安定した立谷沢川 たちやざわがわ

砂防事業によって、立谷沢川の流路は安定し、それまでは毎年のように水があふれて被害を受けていた河川敷も有効に利用できるよになりました。今では実り豊かな水田地帯となっています。



過去
S44.10 撮影

昭和44(1969)年 立谷沢川空中写真(川の流れが定まらず、川があふれ、広がって流れている)



現在
H8.10 撮影

平成8(1996)年 立谷沢川空中写真(流路工の砂防工事により、川の流れが定まり、まわりが農耕地として利用されている)

参考文献

- ・「わたしたちの庄内町」庄内町教育委員会
- ・「余目町史」余目町
- ・「立川町史」立川町
- ・「大蔵村史」大蔵村
- ・「図説 山形県の歴史」河出書房新社
- ・「山形県の歴史」県史シリーズ6 山川出版社
- ・「江戸時代 人づくり風土記 山形」農文協
- ・「やまがた生活風土誌」中央書院
- ・「最上川流域の文化的景観 調査報告書」山形県教育委員会
- ・「最上川と羽州浜街道」街道の日本史11 吉川弘文館
- ・「立川町の風土資産」立川町
- ・「立谷沢川龍神マップ」新庄工事事務所立谷沢川出張所
- ・「山形県庄内町 立谷沢川流域散策手帳」立川町
- ・「山形大学月山マイスター読本月山の意味」
八木浩司編著・山形大学月山マイスター
- ・「月山ジオパーク構想」月山ジオパーク推進協議会
- ・「川のなんでも小事典」講談社ブルーバックス
- ・「生物多様性の保全と持続可能な活用に向けて」山形県
- ・「庄内町地域防災計画」庄内町
- ・「山形県防災計画」山形県防災会議
- ・「広報 たちかわ」立川町
- ・「水と緑にふれあう立谷沢川」新庄工事事務所
- ・「日本に住むための必須!! 防災知識」財団法人土木学会
- ・「土砂災害から身を守る」NPO 土砂災害防止広報センター
- ・「防災学習マニュアル」国土交通省河川局防災課

庄内町 わたしたちの防災ブック

令和元年6月

制作・発行：国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

監 修：山形大学教授 八木浩司

小学校	年	組
なまえ		